



福島南ロータリークラブ

基本方針: 原点を見つめ、みんなのための奉仕を

事務局/〒960-8151 福島市太平寺字通吹 6-2 ザ・36・メイファイブ 1F2号室
tel. 024-546-3793 fax. 024-545-7878
例会場/サンパレス福島 〒960-8101 福島市上町 4-30
tel. 024-523-3811(代) fax. 024-523-0375
HP アドレス <http://www.inaka.ne.jp/f-southrotary/index.html>



- 会長：紺野仁昭 ■幹事：佐久間 功
- 会報委員長：松崎弘昭 ■副委員長：佐藤朋也
- 委員：斎藤信男 斎藤善重 佐々木孝光 丹治洋子

第14回例会

平成24年10月10日(水) サンパレス福島

■会員/67名 ■出席/40名 ■出席率/59.70% ■メイクアップ/15名 ■修正/55名 ■修正率/82.09%

本日のプログラム

- 1 開会点鐘
- 2 来訪者紹介と会長挨拶
- 3 東京大崎 RC メーキャップ会員紹介
- 4 東京大崎 RC 会長ご挨拶
- 5 パナー交換
- 6 会員スピーチ
佐藤 誠 米山記念奨学会委員長
- 7 閉会点鐘

会員の広場 (国際奉仕委員会・新世代奉仕委員会)

11月14日(水) 成蹊高校 IAC 例会日に合わせてエコキャップの引渡しを行なうことになりました。当日の例会前にサンパレスの玄関前にて回収を行ないますので皆様のご協力をお願いいたします。

今日の一面記事

内戦状態に陥ったシリアのアサド政権が国内の病院で外傷患者の身元や負傷者の経緯を調査し、反体制派の活動と無関係であることが判明するまで院外に出さないよう病院側に指示していることが関係者の取材で分かった。

H24. 10. 10 毎日新聞 転載

◆会長あいさつ◆



紺野 仁昭 会長

今日は国際ロータリー第2750地区東京大崎ロータリークラブ様より羽廣元和会長をはじめとして多数の方にご来訪いただきありがとうございます。ありがとうございます、心より

歓迎申し上げます。後ほどお一人ずつご紹介をいただきたいと思ひます。

東京大崎ロータリークラブ様は昭和60年創立で、現在の会員数は37名とのことでございます。例会場はグランドプリンスホテル新高輪、例会日は金曜日で、姉妹クラブとして台北華南ロータリークラブ様、友好クラブとしてパールハーバーロータリークラブ様と結んでおられます。

昨年の3. 11東日本大震災の際には、頻りに起こる余震の中、第2530地区大橋廣治ガバナー・戸清和地区幹事のもとに、依田真一様、田島武史様が直接おいで下さいました。そして、姉妹クラブの台北華南ロータリークラブ様と共に、第2530地区に対して50万円の義援金をいただきました。福島のため

にご尽力いただきましたこと、改めまして御礼と感謝を申し上げます。

今年度の羽廣会長さんの掲げるテーマは『和気藹々とロータリーライフを楽しもう』だそうです。今日は、皆様夜の楽しい例会が待っておられるとのことで、当クラブからも10名ほど懇親会に参加させていただき、親睦を深められればと思っております。よろしくお祈りいたします。

さて、先週の例会では地区職業奉仕委員会・野地委員長の卓話をいただきました。ありがとうございました。今日は職業奉仕・米山月間ですので、本日は当クラブ米山記念奨学会委員長・佐藤誠委員長より後ほどお話をいただきます。

また、先週の10月4日午後4時から、第一分区の第4回会長幹事会が二本松商工会議所で開催されました。会議では、11月18日の地区大会の件、12月1日の第一分区主催新世代会議の件、新クラブ設立についての現況説明等がありました。終了後、二本松提灯祭りを見学いたしました。7台の太鼓台と、1台あたり300もの提灯の灯りがすばらしく、太鼓の音や若者の元気さ、各町内会・市民が一丸となって祭りを盛り上げる様子に、元気をもらって帰ってきました。お祭りも復興に一役買っていると思ひました。

◆来訪者ご挨拶◆

東京大崎 RC 会長 羽廣 元和 会長



只今ご紹介にあずかりました東京大崎 RC の今年度会長の羽廣でございます。

本日は、お忙しい中、そして厳粛な例会に我々大勢が押しかけて、温かくお迎えいただきまして本当にありがとうございます。



本日出席させていただいた経緯というのは、昨年地震発生以降いろいろ義援金等々の問題がございました。手前

どもが所属しているクラブは、品川区にありまして、品川区は福島の浪江町と提携しております関係もございまして義援金を出させていただいた。その時にツールがございませんでしたので、その年の大橋ガバナー様にご相談して直接にお渡しさせていただいたということで、福島南 RC 様とご縁ができたということでした。

◆会員スピーチ◆

佐藤 誠 米山記念奨学会委員長



平成24年9月9日 郡山南東北総合卸センター会議室にて2530地区の米山記念奨学会学友委員会委員のセミナーに、富田健三郎さんと二人で出席してまいりました。

席上、米山記念奨学会の成り立ちから始まって、その後の経過や現在の財政が厳しい状況などについて説明がありました。その詳しいことは、先月の例会に「ロータリー米山記念奨学事業の豆辞典」を全会員にお配りしておりますので、よく読んでいただいて、本事業に深いご理解をよろしくお願いいたします。

今回のスピーチで紺野会長さんから、職業奉仕についても話してほしいと言われましたが、これにはちょっと困りました。皆さんにお話できるようなことをやっているだろうか？ まして大崎 RC の皆さんの前で・・・と困っております。もともと遠慮深いものですから・・・

実は、10月は私の誕生月です。ご存知ない方もおられるでしょうから、敢て申し上げますが、10月の誕生日で満85歳になりました。当クラブの最高齢者ということですので、いつも言うのですが、皆さんお年寄りを大事にしましょう。笑笑笑・・・

それにしても、若いんじゃないか。10も15も若く見えるぞ。肌艶もいいし動作も活発だ。等々自分で言うのも恥ずかしい限りですが、多くの人にそう言われております。なぜそうなのか？ 自分としては普通の生活をしているつもりなのでよく分かりませんが、健康とか人の体のありようは、精神的な分野で、ものの考え方や心の持ちようが約半分、あとは食べ物(水を含めて)と体を動かすことで保てるのではないのでしょうか。

仏教からきた言葉で「身土不二」という言葉がありますが、体と土地は密接不可分であるということです。最近では地産地消と言われておりますが、その人が生きている自然条件の中で成長し収穫されたものを食べるのが健康を保つ大事な大事な条件だと思います。それが身土不二の理念であります。私自身も、30坪程の自家用畑で有機・低農薬で野菜を作っております。

作家の有吉佐和子さんが、その著書で食品添加物の危険性について警告されておりました。添加物を全くとらないというわけには参りませんが、健康な体のためには、なるべく少なくするよう心がけることが大切であります。

石油系添加物は、食品だけでなく昭和40年代頃の化粧品にも多く使われていました。女性が美しくありたいということで、真面目にメーカーの言うとおり化粧をすればするほど大事な肌が黒ずんでいった、ということが実際にあったのです。

それで私達は、女性の美しさに貢献しようと、安全な化粧品を探しに探して遂に当社のアパートの名称になっているエルセーラン化粧品に出会いました。

取り引きを始めて30年になりますが、この会社の大きな柱が3つあります。一つは石油系添加物を使用しない。二つ目は顔や肌にぬって綺麗に見えるのが主ではなく、あくまでも素肌美を求める。三つ目は素肌美の基礎は健康な体と健全な心である。

こうした基本の考え方を大切にして営業を継続しております。ともあれ、多くの女性の素肌美に貢献できて、意義のある仕事に出会ったものと関係する皆さんに感謝申し上げているところであります。

なんだか、当社のPRも兼ねてしまったようで恥ずかしい限りですが、時間となりましたので終わらせていただきます。

◆今月・来月のプログラム

- 10月15日(月) 東京麹町 RC 移動例会
- 10月17日(水) 休会
- 10月24日(水) 夜間例会(宴会無)
- 10月31日(水) 休会

◆編集後記◆

震災は、大きなものを失いましたが、いろいろなところと絆をキーワードにたくさんの新たな縁をいただくことができました。(松崎)